

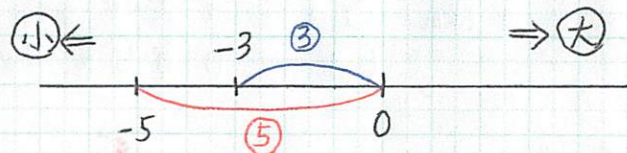
数の大小

P.19 数の大小をどう比べたらよいか?

例 1 $5 > 3$ (5の方が大きい)

例 2 $5 > -3$ (正の数は負の数より大きい)
 $(+) (-)$

問 $-5 < -3$



-5の方が、0より離れているので、
 -5と-3では、-5の方が小さい。

$$-5 < -3$$

0からある数までの距離を、
 その数の絶対値という。

+3の絶対値は3
 -4の絶対値は4

数の大小は、 $(+) > (-)$

- 正の数は負の数より大きい。
- 負の数は、絶対値が大きいほど小さい。

↓
 -1と-10000では、
 -10000の方が小さい。

数P.19 問 1 (1) 絶対変 (2) (3) (4)

P.20 問 3 (1) $4 < 5$ (2) $-3 < -7$

(3) $-1.6 < -0.6$ (4) $-\frac{3}{8} < -\frac{5}{8}$

$(大) > (小) < (大)$ 不等号
 ↑

注 3つ以上の数を比べるとき

-4, 2, -2

$\times -4 < 2 > -2$ ○ $-4 < -2 < 2$

向きをそろえる。

まとめ

数の大小を比べるには、

※自分のことばで書いてみよう。
 問題の解答は最後のページにあります。P6

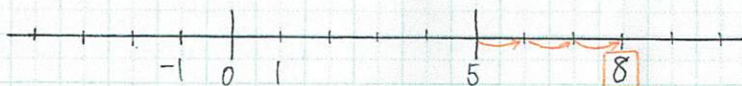
5/
P21

数直線を使って

ある数より大きい数や小さい数を
求める時は何が大切だろうか。

例1 5より3大きい数

数直線で右に3進む

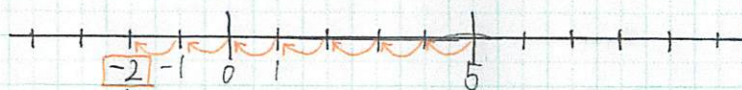


式で書くと...

$$5 + 3 = 8$$

例2 5より7小さい数

数直線で左に7進む



式で書くと...

$$5 - 7 = -2$$

例3 5より-8大きい数

数直線で右に-8進む

ここで大切になるのが

「言葉の変換」(教科書P18またはノートP4を見てみよう!!)

-8大きい数は

↓ ↓

8小さい数とも書ける!!

つまり...

P7

例3 5より-8大きい数

↓ ↓

8小さい数

数直線で左に8進む



式で書くと...

$$5 + (-8)$$

$$= 5 - 8$$

$$= -3$$

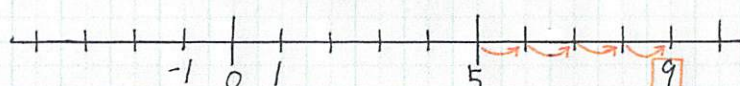
この2つの式は
同じ意味なんだね!!

例4 5より-4小さい数

↓ ↓

4大きい数

数直線で右に4進む



式で書くと...

$$5 - (-4)$$

$$= 5 + 4$$

$$= 9$$

この2つの式も
同じ意味なんだね!!

教P22 問8 (奇数の問題のみ今回は式を書かずに答えのみ・言葉の変換忘れずに!!)

(1) (3) (5) (7)

解答
(1) -2
(2) -3
(3) -3
(4) 5

まとめ
ある数より大きい数や小さい数を
求める時は「言葉の変換」が大切!!

P8